

科目名称	音響制作演習 I			授業コード	10060721
担当教員	赤澤 聡				
単位数	2.0	授業形態	演習	科目分類	芸術工学基礎(2019年度入学生のみ)
年次	1	開講年度	2019	開講学期	前期
関連資格					
履修制限等	「その他」参照				
到達目標(目的含む)	音響メディアの制作過程を把握理解し、その基礎的な制作技術を身に付ける。				
授業の概要	音響「音」を中心軸に置き、マス・コミュニケーション・メディアにおける表現の基礎についての講義演習。具体的には、放送メディアの構成・脚本・演出・録音・編集、及び各メディアに使用する「音楽」についての制作論及び演習を行う。各場面において出演者としての演習も行う。制作物として、番組制作(ラジオ)・オリジナル音楽・音声ドラマを制作する。まんが表現、映像表現をはじめメディア表現において、音声・音楽の要素は大きくその表現方法を取得することは重要。演習はコントロールルーム(レコーディングスタジオ)にて行う。スタジオの基本的な使い方もマスターする。 放送業界で30年以上のキャリアがあり、数多くのラジオ番組のディレクション(民間放送各社がおこなう賞の受賞を多数有す)を行ってきた担当教員が、その経験を生かし、特に映画制作、アニメーション制作、ラジオドラマ等に関わる音響関係のディレクション、録音、効果、CD制作他を、プロの視点から、実践的に指導する。				
授業計画	1: イントロダクション／マス・コミュニケーション・メディア概論 2: 制作演習における総合テーマ・クリエイティブコンセプトを考案 3: 放送番組の制作概論 4: 音響機材の基礎・セッティング(コントロールルーム・スタジオの使い方) 5: 音響機材の基礎・操作方法(コントロールルーム・スタジオの使い方) 6: 放送番組の制作演習 企画方法・構成台本の書き方・ドラマ脚本の書き方 7: 放送番組の制作演習 演出ディレクションの方法・出演者としての在り方 8: 放送番組の制作演習 音楽番組・トーク番組の録音方法 9: 放送番組の制作演習 ドラマ番組の録音方法 10: オリジナル音楽・テーマ音楽・CM音楽の概論と制作演習 作曲作詞の方法 11: オリジナル音楽制作の具体的内容企画会議 12: オリジナル音声ドラマ制作の具体的内容企画会議 13: 企画プレゼンテーション 14: 制作物の確定 15: 前期講評				
授業時間外学習	実際の放送番組・音楽CDの名作から最新作品までを、制作サイドの視点に立ち、関心を持ち聞いて見ることが重要。				
評価方法	実習への取り組み、成果物で評価する。出席が2/3に満たない場合はE評価とする。				
課題・試験に対するフィードバックの方法	制作演習を行う授業回では、現実の制作現場の視点に立ち、良かった部分・改善すべき部分を個々にコメントする。				
使用テキスト	オリジナルテキストの配布。				
参考テキスト・URL					
各自準備物	適宜授業内で指示する。				
実習費					
その他	履修制限として15名程度(学年及び学科は問わず)。履修希望者が多数の場合、面談等で決定する。後期授業「音響制作演習Ⅱ」を続けて履修することが必須となる。前期のみ、後期のみという履修は不可とする。 2018年度以前入学生において、この科目の単位修得は、まんが表現学科専門科目(他学科生は自由区分)扱いとなるので注意すること。 ※2018年度以前科目名称:音響メディア制作演習Ⅰ				